



向上無限

校訓 生徒一人ひとりの可能性は無限大！



学校便り
校長 仲盛康治
『心一つに』
『誰かの笑顔のために』
『明日が待ち遠しい学舎』

こあいさつ

歴史と伝統、風格のある由緒正しい地域を校区にもつ本校に、令和3年4月1日より赴任いたしました第19代校長の仲盛康治と申します。

本校は、1974年4月1日、首里中から独立分離し石嶺の高台に誕生しました。分離する際、1、2年生が首里中に別れを告げる分離式のあいさつで城北中代表が「別れは、挑戦である！」と名言を発し、この言葉が後の城北魂、校訓『向上無限』の誕生に繋がったとのエピソードを聞き、身震いするほど感動いたしました。『向上無限』には、「生徒一人ひとりの可能性は無限大！各々の秘めたる力を見つけ出せ！どこまでも伸ばしていくぞ！」という子どもも大人にも相通じる熱い思いが込められています。

さて、私は元気な学校づくりのコンセプトとして
『心一つに』
『誰かの笑顔のために』
『明日が待ち遠しい学舎』

の3つを掲げ、『誰かの笑顔のために自ら気づき、考え、行動する生徒』の人材育成を図り、保護者や地域の皆様が「城北中を誇りに思い通いたい学校、通わせたい学校」となるよう全力を注ぐ所存です。

保護者及び地域の皆様、皆様の大切なお子さまをお預かりし、一人ひとりの秘めたる力を引き出すとともに「生きる力」を育成し、卒業式の日「城北中に入学して良かった」とのお言葉がいただけるよう、また全生徒が、心身ともに健康で、一人ひとりの目標が達成され、成長することができるよう教職員一同力を合わせて教育活動の充実に取り組んで参ります。保護者や地域の皆様から応援していただける学校にしていきたいと考えています。どうぞ、ご指導とご支援をよろしくお願い申し上げます。



入学おめでとう！

4／8(木)に第50期となる新入生が入学いたしました。新制服にそでを通し、とても良い表情がたくさん見られました。

在校生あいさつ

第48期生徒会長 宮城 ルース

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。これから始まる新たな日々がみなさんにとってどのような日々になるのでしょうか。本日は私から、みなさんに2つのことを話したいと思います。

一つ目は「挑戦する」ということです。大きな目標を達成するためには挑戦することが必要不可欠です。しかし、目標を達成するために挑戦するのではありません。自分自身を成長させるために挑戦するのです。だからこそ、みなさんには自分自身としっかり向き合い、自分自身に挑戦してもらいたいと思っています。挑戦は自分の意志の固さを試すものであり、試練がつきものです。この先、大きな壁にあたり、傷つき、苦しむことが何度もあることだと思います。しかし、それは不幸ではありません。チャンスなのです。私の尊敬する人の言葉で「悲しみや喪失はギフト」という言葉があります。これは悲しみや喪失などは刺激に変えることができ、刺激によって自分自身を成長させることができるので、それらは私たちにとってギフトだという意味です。皆さんには、あらゆる出来事をギフトに変える力があります。ぜひ、そのような出来事をギフトにして自分自身を成長させてください。

二つ目は「感謝する」ということです。今皆さんがこのような式に参加できているのもすべて皆さんを支えている周りの人のおかげなのです。そのため、周りにいるかけがえのない家族や仲間へ感謝し、そして大切にしたいと思っています。最後に、皆さんにとってこれからの日々が素晴らしいものになることを願っております。

